



ジャパン・ライジング・スター・プロジェクト
一般社団法人日本身体障がい者水泳連盟
障がい者水泳指導者講習会 in 奈良 開催要項(案)

1. 目的 ジャパン・ライジング・スター・プロジェクト事業(※1)の一環として、指導者の育成、資質向上をめざし講習会を開催する。障がい者の水泳特性を知ってもらい、指導法を学ぶことで、将来的に広くパラスイマーの指導ができるようになることを目的とし、3期生の選手の居住地や練習拠点にて開催する。
2. 主催 公益財団法人日本スポーツ協会
一般社団法人日本身体障がい者水泳連盟 (JPSF)
3. 後援 近畿障がい者スポーツ指導者協議会
4. 協力 奈良県くらし創造部スポーツ振興課、まほろば健康パーク「スイムピア奈良」
近畿身体障がい者水泳連盟
5. 日程 2020年3月14日(土) 12:45 ~ 17:40(終了予定)
※12:30 受付開始、現地集合、現地解散

12:45~13:00	開講式
13:00~14:20	講義 障がいの基本的知識について
14:30~15:45	講義 障がい者水泳の導入について
16:00~17:00	実技 障がい者水泳の導入方法
17:20~17:40	指導者制度の説明、閉講式

6. 会場 まほろば健康パーク「スイムピア奈良」会議室及び室内プール
<http://swimpia.com/facility.html>
7. 対象 障がい者の水泳指導に意欲を持っている方
(※ただし、プールに入水し、介助等ができる方)
8. 受講料 無料 (J-STAR プロジェクト事業で負担)
9. 定員 15名程度 (申込者多数の場合は、奈良県在住の方及び連盟事業に参加予定の方を優先する)
10. 申込み 申込書に必要事項を記入のうえ、2月25日(火)までに、郵送またはファックスで申し込むこと。
〒651-0085 神戸市中央区八幡通4丁目1-15 成樹ビル303号
(一社)日本身体障がい者水泳連盟 J-STAR担当者宛
ファックス 078-855-6685

なお、受講の可否については3月4日頃までに通知を送付する。

11. 連絡事項
- ・ 講習中の保険は主催者にて一括加入します。
 - ・ 講習中の疾病やけがについては応急処置のみ対応します。
 - ・ この講習の受講者は一定の条件を整えれば、JPSF 障がい者水泳指導員の資格修得過程へ移行できます。(※2)
 - ・ 入水できるよう水着等必要なものを各自で準備してください。入水ができない場合は受講証がお渡しできません。
 - ・ 上履きをご持参ください。
 - ・ 講習中の様子について報告書等に利用するため撮影することがありますので、あらかじめご了解ください。
 - ・ 講習中は受講者個人による撮影ならびに講習のSNS掲載等をご遠慮ください。
 - ・ 本事業の関する問合せは下記へご連絡ください。

(一社)日本身体障がい者水泳連盟 J-STAR 担当者

ファックス 078-855-6685、メール : jpsf-kensyu@paraswim.jp

以上

(※1) ジャパン・ライジング・スター・プロジェクト事業

第2期スポーツ基本計画及び平成28年10月に発表した「競技力強化のための今後の支援方針(鈴木プラン)」により、平成29(2017)年度から、公益財団法人日本スポーツ協会(当時「日本体育協会」)は、独立行政法人日本スポーツ振興センターから委託を受け、「競技力向上事業」の一環として、全国の将来性豊かなアスリートを発掘するためのプロジェクト「ジャパン・ライジング・スター・プロジェクト(J-STAR)」を実施しています。このプロジェクトを通じて、オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて有望なアスリートを発掘し、競技団体の強化育成コースに導くことを目指しています。

本プロジェクトの中で、パラリンピック水泳競技(身体障がい者水泳競技)では選出した有望なアスリートの居住地や当連盟育成練習拠点のまほろば健康パーク「スイムピア奈良」において合宿を実施しています。また、練習環境の改善として指導者の養成なども行います。

(※2) JPSF 公認障がい者水泳指導者資格について

この資格は、当連盟独自の資格ですが、学校体育における水泳指導のアウトソーシング化や公共プールなどの指定管理にも障がい者水泳指導者資格を持っていることが必要になってきていることなど社会の変化もあり、資格制度を改定しました。

JPSF 公認障がい者水泳指導者資格概要

資格の種類	主な役割
初級	初心者～地域大会レベルの選手の指導
中級	初心者～全国大会レベルの選手の指導
上級	全国大会レベルの選手の指導
パラ水泳コーチ	強化育成選手合宿や選手養成事業での指導